

貯 法 室温保存、気密容器

動物用医薬品

承認指令書番号

3動薬第884号

販売開始

2016年3月

ピレスロイド系殺虫剤
劇薬 指定医薬品 使用基準

フルメトリン液1%「KS」

【本質の説明又は製造方法】

本剤はピレスロイド系外部寄生虫駆除剤であるフルメトリンを含むボアオン法による駆虫剤です。フルメトリンは牛の外部寄生虫（マダニ、ハジラミ、シラミ及び疥癬虫）に駆除効果を発揮します。

【成分及び分量】

本品 100 mL中

有効成分	含量
フルメトリン (但しトランスZ1体及び トランスZ2体として)	1.0g

【効能又は効果】

牛に寄生する外部寄生虫の駆除

：マダニ、ハジラミ、シラミ及び疥癬虫（シヨクヒヒゼンダニ）

【用法及び用量】

体重1 kg当たりフルメトリンとして1 mg（製剤として10mL／100kg）を牛の背中線に沿って、寄生状況に応じ、適宜鼻部から尾根部までの皮膚に、注射筒又はピペットなど計量できる器具又は容器を用いて滴下する。

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- ・本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は、獣医師の指導の下で使用すること。
- ・本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物（牛）について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。
牛：食用に供するためにと殺する前2日間

（使用者に対する注意）

- ・使用に際しては手袋等を着用し、手指等皮膚に薬液が付着しないようにすること。また、目や口に入らないように注意すること。
- ・投与中に飲食及び喫煙をしないこと。
- ・使用中、誤って皮膚、顔などに薬剤が付着した場合には、石けん等でよく洗うこと。また、目や口に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流すこと。
- ・使用後は、石けん等で手を洗うこと。

（牛に関する注意）

- ・本剤の投与前には健康状態（元気、食欲、糞便、皮膚、被毛等）を観察し、使用の可否を決めること。
- ・本剤投与後、搾乳時には乳房をよく清拭すること。

（取扱い及び廃棄のための注意）

- ・外観又は内容に異常を認めた場合は使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- ・使用後の容器を他の目的のために再利用しないこと。
- ・保管は火気厳禁とすること（第4類 第3石油類 流動パラフィン 危険等級Ⅲ）。
- ・本剤を凍結させないこと。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- ・誤って飲み込まないように注意すること。
- ・万一、身体に異常を来した場合や誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちにピレスロイド系の殺虫剤を使用した旨を医師に申し出て診察を受けること。

（牛に関する注意）

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・本剤投与後、一過性の軟便又は下痢があらわれるとの報告がある。

（取扱い上の注意）

- ・開封後は3ヵ月以内に使用すること。
- ・使用後、残った薬剤は、必ず保管場所に戻し、栓は確実に締め付けておくこと。
- ・本剤を、魚、水棲生物及び蜜蜂に被害を及ぼすおそれのあるところでは使用しないこと。
- ・本剤投与後、畜舎及び周囲の器具、機材等に付着した場合はよく清拭すること。

【薬理学的情報等】

（薬効薬理）

フルメトリンは神経刺激伝達が行われる時の神経膜のイオン（Na⁺、K⁺）透過性の変化により、害虫を死に至らしめる。（参考資料：動薬研究、1989.4.NO.4）

【包 装】

1 L（アプリケーション添付）

【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術

〒102-0073 東京都千代田区九段北一丁目11番5号

TEL 03-3264-7559

【火気厳禁】

危険物第四類

第三石油類

危険等級Ⅲ

軽質流動パラフィン

オクチルドデカノール

製造販売業者

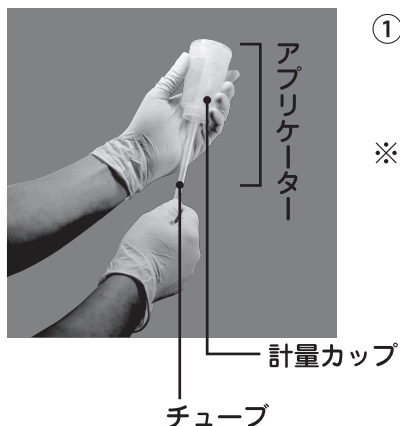


共立製薬株式会社

東京都千代田区九段南1-6-5

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。

フルメトリン液1%「KS」 アプリーケーターの使い方



- ①計量カップにチューブを差し込み
アプリーケーターを準備します。

※チューブはしっかり差し込んでください。
差し込みが弱いと、1 L 容器の中にチューブが落ちることがあります。



- ②1 L 容器にアプリーケーターをねじ込み、セットします。



- ③1 L 容器中央部を押すと、薬液がアプリーケーターに入ります。
1 L 容器をまっすぐに立てて、必要投与量になるまで中央部を押してください。
緩めると薬液が止まります。



- ④アプリーケーターのキャップを開け、計量カップの中の薬液を牛の鼻部から尾根部までの背中線に沿って滴下してください。

製造販売業者



共立製薬株式会社

東京都千代田区九段南 1-6-5

お問い合わせ先：電話 03-3264-7559